

事業番号	05 02 20	事務事業シート (25年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	医療施設耐震化臨時特例補助金			担当課	部局	健康福祉部
					課・室	医療推進課
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	<a href="mailto:iryo@pref.nagano.lg.jp">iryo@pref.nagano.lg.jp</a>
	施策の総合的展開	6-1 健康で長生きできる地域づくり 4 医療施策の充実		実施期間	H21 ~ H28	

### 1 事業の概要

目指す姿	災害拠点病院等の耐震化を図り、大規模地震等の災害時における医療提供体制の確保と入院患者等の安全の確保を目指す。	
現状	病院の病棟が老朽化しているため、大規模地震等の災害が発生したときに、医療の提供が出来なくなったり、入院患者が被害を被ったりすることが想定される。 <input type="checkbox"/> 病院の耐震化の状況 ・ 災害拠点病院・救命救急センター 11病院中 8病院が耐震化済み ・ 二次救急医療機関 85病院中 46病院が耐震化済み	

県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 厚生労働省「医療施設耐震化臨時特例交付金交付要綱」
	県民との協働による実施：困難	

成果目標・事業内容	① 成果目標					
	未耐震化の災害拠点病院等の耐震化整備事業を支援する。 要望に対する補助実施件数の割合 9/9件。 二次・三次救急医療機関の耐震化率 68.3%→70%以上					
事業内容	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H25事業実績		H26	
			(当初)	(決算)	(当初)	
	医療施設耐震化臨時特例補助事業	補助	耐震化指定医療機関(7病院)の耐震化整備事業を支援	1,068,784	935,100	1,363,253
	医療施設耐震化臨時特例基金の運用	直接	補助金として支出するまでの間、基金を適切に管理運用	642	12,081	687
特例基金積み増し	〃	交付金を基金に積み増し	0	1,424,774	0	
		合計	1,069,426	2,371,955	1,363,940	

事業コスト	区分(単位:千円)		23年度	24年度	25年度	26年度
	予算額	前年度繰越	0	0	0	
		当初予算	1,577,905	1,666,798	1,069,426	1,363,940
		補正予算	608,876	0	1,316,456	
		合計(A)	2,186,781	1,666,798	2,385,882	1,363,940
	Aの財源	国庫支出金	1,342,662	0	1,424,774	
		県債	0	0		
		その他(繰入金・財産収入)	844,119	1,666,798	961,108	1,363,940
		一般財源	0	0	0	0
		決算額(B)	2,184,650	1,260,378	2,371,955	
概算人件費	職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	
	概算人件費(C)	826	826	826	826	
	概算事業費(B(A)+C)	2,185,476	1,261,204	2,372,781	1,364,766	

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
要望に対する補助実施件数の割合	9/9件	9/9件	5/5件	達成	5/5件
二次・三次救急医療機関の耐震化率	70.1%	70%以上	74.2%	達成	70%以上

目標に対する成果の状況	医療施設の耐震化整備を行う事業者からの要望に基づく財政支援を行い、5病院の耐震化(着手含む。)が完了した。
-------------	---

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない	<input type="checkbox"/> 事業を見直して実施	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	地震等の災害時に必要な役割を果たす災害拠点病院の耐震化整備に対して引き続き支援していく必要がある。		